

開催概要

■開催概要

日時：平成28年12月18日（日）

11時開場、13時開演、16時30分終演予定

会場：京都コンサートホール 大ホール（京都市左京区下鴨半木町1-26）

（第4回参加者数（全国高校生茶道フェスティバル含む2日間延べ））

観覧者数 約1,300人

出演、運営協力生徒教員等 約1,900人

計 約3,200人 ※今年も前年と同等の参加者数等を想定しています。

■主催

京都府、京都府高等学校文化連盟

※文化庁 文化芸術振興費補助（文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業）



■特別後援

公益社団法人全国高等学校文化連盟

■後援

京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府公立高等学校長会、
京都府私立中学高等学校連合会

■内容

第5回記念大会 全国高校生伝統文化フェスティバル

○郷土芸能部門（中野七頭舞、佐渡民謡、八重山舞踊、和太鼓） ○日本音楽部門（箏曲）

○吟詠剣詩舞部門（吟詠剣詩舞） ○京都府による特別公演（狂言） 等

■その他

観覧者については、10月頃より、事前申込（入場無料）

申込み多数の場合は、抽選

出演団体の紹介

【郷土芸能部門（伝承系）】

なかのななずまい

いわいずみ

〈中野七頭舞〉 岩手県立岩泉高等学校 郷土芸能同好会

創立73周年を迎えた山間の小規模な高校。日本三大鍾乳洞の龍泉洞や恐竜化石を産した茂師海岸を有する自然豊かな環境で、自然や文化を貴ぶ心とグローバルな視野を育む取組を行っている。郷土芸能同好会は、故郷に伝わる魅力ある舞を多くの人に広め、後輩に継承することを目標に日々精進して活動に取り組んでいる。一昨年には海外交流連携事業として、フランスのパリで演舞を披露した。

【主な実績（過去3年間）】

全国高総文祭郷土芸能部門 文化庁長官賞 (H26)

さど 民謡

〈佐渡民謡～芸能と文化の島より～〉

はもち

新潟県立羽茂高等学校 郷土芸能部

佐渡島南部にある全校6クラスの高校。佐渡には、朱鷺の舞う美しい自然と金山や北前船に代表される繁栄の時代があり、豊かな文化の中で様々な芸能が生まれた歴史がある。郷土芸能部は、地域の方々の指導の下、佐渡の芸能の魅力为全国へ、そして未来へ伝えられるよう日々練習に励んでいる。島の内外で年間に20回を超えるお祭りやイベントでの公演を行い、全国高等学校総合文化祭：郷土芸能部門には県代表として10年連続で出場している。

【主な実績（過去3年間）】

全国高総文祭郷土芸能部門 優良賞 (H27)



★岩泉町小本（おもと）地区に受け継がれてきた伝承芸能であり、役割（道具）が七つに分かれ、舞も七種類あり、原野を開墾し、作物を植え、害獣から守り、収穫を分かち合う農民の日々の営みを演じます♪



★「相川音頭（あいかわおんど）」、「小木（おぎ）おけさ」、「羽茂甚句（はもちじんく）」、「佐渡（さど）おけさ」を披露します。また、今年から鬼太鼓にも取り組んでおり、「羽茂甚句」では軽快な三味線と唄に誘われて、鬼が登場いたします♪

いーあーぬ のーり

〈稲粟の稔り～いにあわぬなをり～〉

や え やま のうりん

沖縄県立八重山農林高等学校 郷土芸能部

珊瑚礁に囲まれた自然豊かな島、八重山諸島石垣島にある日本最南端の農林高校。郷土芸能部は、かつての農耕の様子や五穀豊穡の喜び、神への祈りと感謝の思いを正しく継承し表現できるよう心がけており、先人たちが大切にしてきた‘結い（ゆい）’の心を合い言葉に日々練習に励んでいる。県内外での大きなイベントでの公演を行う一方、豊年祭、ハーリー等の地域行事にも参加しており、今年8月には「ハワイ文化交流公演」に招待され、初の海外公演を行うことになっている。

【主な実績（過去3年間）】

全国高総文祭郷土芸能部門 優良賞 (H27)

【郷土芸能部門（和太鼓）】

てん ち みょうじょう

〈和太鼓「天と地」〉明星学園高等学校 和太鼓部

東京三鷹市にある小学校・中学校・高等学校からなる私立の共学校。「個性尊重・自主自立・自由平等」を教育理念とし、生徒が主体的に取り組む体育祭・文化祭・音楽祭の三大行事は大変好評で、国際交流も盛んである。和太鼓部は今年創部25年目を迎え、中学生と高校生が合同で活動している。演奏活動は学内はもとより、学外での地域の行事や公演も行っている。全国高等学校総合文化祭：郷土芸能部門には過去7回出場し優秀な成績をおさめている。

【主な実績（過去3年間）】

全国高総文祭郷土芸能部門 文部科学大臣賞 (H27)
優良賞 (H26)



★「ユンタ（労働歌）」や「マミトーマ」「稲摺り節」の曲でかつての田植えや田草取り、脱穀精米の様子を表現します。互いに助け合う”結い”の心、喜びを歌い、踊ります♪



★太鼓の音がつスケール感に自然の営みの尊さと人間の喜怒哀楽の感情を重ね合わせ、変拍子を複雑に使い様々な音色でその様を引き出し、感謝の気持ちと共に表現した曲です♪

【日本音楽部門】

わがつき さんじゅうそうきょく
 〈箏曲「和楽器のための三重奏曲」〉

いいだ
 長野県飯田高等学校 邦楽班

県南部、遠く南アルプスを望む飯田市にあり、創立115周年を迎える学校。邦楽班は創部28周年を迎え、みんなで箏を弾く楽しさを実感しながら練習に励んでいる。

全国高等学校総合文化祭には、県代表として16年連続で出場しているほか、地域の音楽会や行事などで数多くの演奏を行っている。

【主な実績（過去3年間）】

全国高総文祭日本音楽部門 文部科学大臣賞 (H25)
 優良賞 (H26)



★五章からなる演奏曲で、今回は一、二、五章を演奏。情緒的あるいは激しい迫力のある表現であり、古典的で重厚な表現等各楽章の緩急が楽しい曲です♪

はる ししゅう かんさいそうか
 〈箏曲「春の詩集」〉 関西創価高等学校 箏曲部

万葉の故郷、大阪府交野市にある、創立44周年の学校。平成27年度にSGH（スーパーグローバルハイスクール）に認定され、種々の取組を通じて生徒一人ひとりが教養と豊かな国際感覚を身に付けている。

全国高等学校総合文化祭には、府代表として14年連続で出場し数々の受賞をしている。海外からの来校者、お客様への歓迎演奏、地域での演奏なども行っている。

【主な実績（過去3年間）】

全国高総文祭日本音楽部門 文化庁長官賞 (H27/H26/H25)



★小川のキラキラとした輝き、さわやかな風に舞う花など春の喜びと哀愁をうたっており、新緑の風を感じたり、美しい桜の花吹雪が思い浮かぶ情景豊かな曲です♪

【吟詠剣詩舞部門】

あぐね らんざん あそ
 〈吟詠剣詩舞 詩舞「阿嶮嶺」「嵐山に遊ぶ」
 いつくしま はは ほう らんざん
 吟「巖島」「母を奉じて嵐山に遊ぶ」〉
 広島県高等学校吟詠剣詩舞合同チーム

平成28年8月の「2016ひろしま総文」に向け、広島県内の複数校から参加した高校生により、合同チームを結成。「2015滋賀びわこ総文」、「2016ひろしま総文プレ大会」に出場した。「2016ひろしま総文」に出場予定。

【主な実績（過去3年間）】

全国高総文祭吟詠剣詩舞部門 出場 1回

【京都府：特別公演】

しゃてい
 〈狂言「舎弟」〉京都府立嵯峨野高校 狂言部

グローバル社会に生きる自分たちのアイデンティティとして、京都の伝統文化を大切にしている学校。その一環として、大蔵流狂言 茂山千五郎家の茂山正邦先生の御指導のもと、平成21年から狂言の稽古と発表に取り組んでいる。平成23年から独自の発表会を能舞台で開催するようになり、平成26年には狂言同好会が発足。文化祭や、地域の行事等活発に活動し、平成27年12月には福島県高等学校総合文化祭活動優秀校公演に招待された。

【主な実績（過去3年間）】

第4回全国高校生伝統文化フェスティバル 出場



★江戸時代を代表する漢詩人である頼山陽のゆかりの地であるとともに、世界遺産巖島神社のあるふるさと広島と、京都にちなんだ4つの演目を吟と舞で披露します♪



★狂言は、伝統芸能特有の「型による演技」を基本としながらも、「室町時代の新喜劇」と言われるように、笑いあり涙あり、今も昔も変わらない人間の姿を生き生きと描いています。そうした狂言の魅力を楽しんでいただけるよう精一杯演じます♪